

「北陸新幹線金沢開業による 福井県の経済・暮らし・地域への 影響とまちづくり方策」

2015年9月8日
福井県立大学 地域経済研究所
講師 江川誠一

1

北陸新幹線の県内延伸区間では、芦原温泉、福井、敦賀の3駅が現駅に併設、越前市には(仮)南越駅が新設される。現状の特急停車駅とは異なる構図となる上に、人口減少社会、低成長社会において新幹線が延伸されるだけで活性化が期待できるような時代でもない。各地において新幹線のインパクトを生かしたまちづくり方策が、まさに問われている。

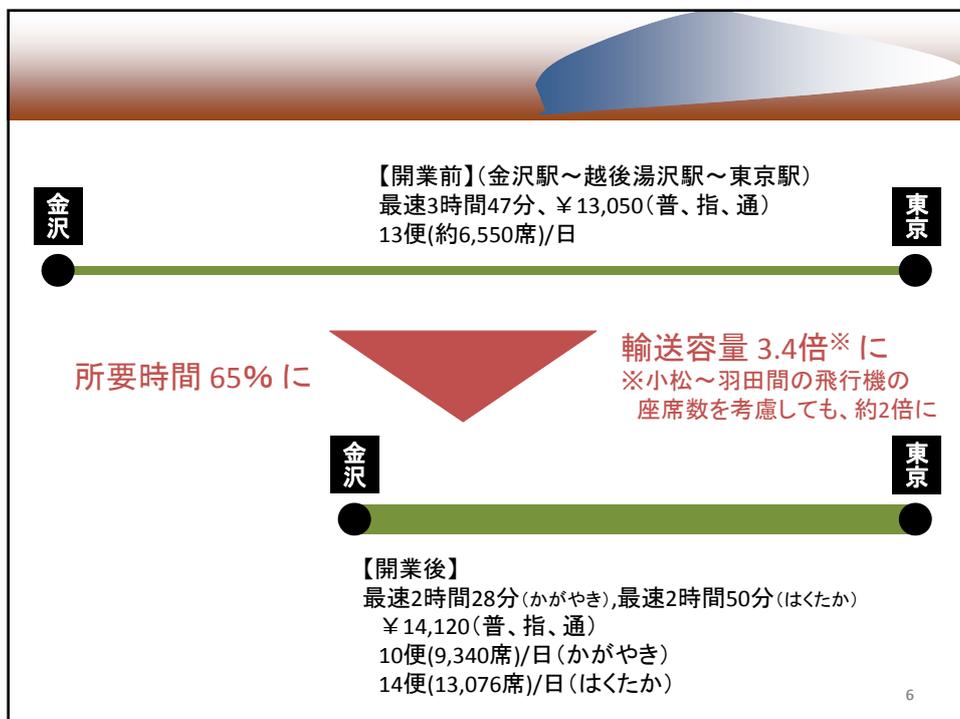
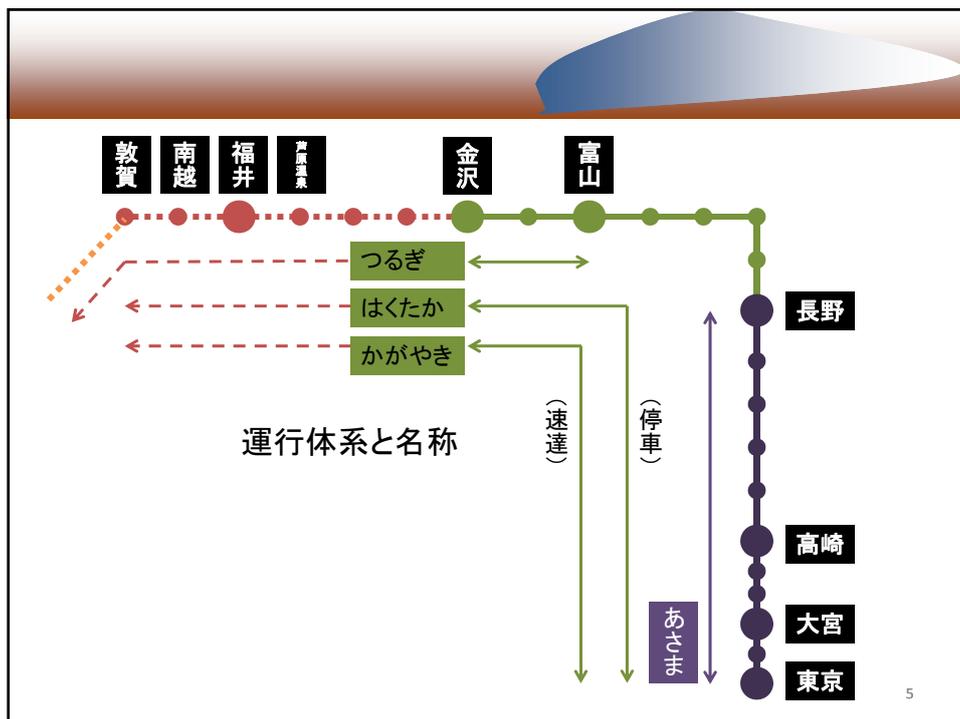
3/14に北陸新幹線長野～金沢間が開業し、その後の県内延伸については前倒しが検討されている。スピード感をもって受入体制の整備を進め、金沢開業あるいは県内延伸によるインパクトを生かした産業振興やまちづくりを行っていく必要がある。そこで、今一度、押さえておくべきポイントを整理しておく。

2

43のポイント

- | | |
|------------------------------------|------------------------------|
| 01 東京～金沢が早く太い動脈で直結 | 02 首都圏における「北陸」注目度はかつてないレベル |
| 03 交通利便性を手に入れた金沢が北陸ブームの中心に | 04 福井の北陸新幹線經由東京行きは僅か |
| 05 福井～東京の鉄路がほぼ同等の2ルートから選択可能 | 06 これまでとは違った人の流れが各地で出現 |
| 07 福井～長野間で新しい交流が誕生 | 08 福井～大宮が北関東、東北方面との最適ルートに |
| 09 シャトル新幹線等で金沢～富山は約20分で強固に結節 | 10 金沢止まり特急等で金沢駅のターミナル化が進展 |
| 11 観光客は金沢起点に東西南北へ回遊 | 12 能登、富山へ向かう客の福井への取り込みは困難 |
| 13 世界遺産 白川郷・五箇山は魅力的なコンテンツ | 14 金沢から西を向いた客は福井まで足を運ぶ可能性 |
| 15 金沢の先に福井、福井の手前に金沢 | 16 新潟県西部、長野県は関西をターゲットに |
| 17 福井の最大顧客は引き続き関西、次いで中部業 | 18 金沢開業1年後に北海道新幹線新函館北斗駅開業 |
| 19 首都圏からは福井は低認知・未体験、高興味のチャンス | 20 東尋坊、永平寺は福井初上陸の地 |
| 21 北陸新幹線と東海道新幹線で大周遊ルート(Japan Ring) | 22 京都と金沢の間のミッシングリンク |
| 23 外国人観光客の流れが変わる可能性 | 24 観光消費額増に向けあわら温泉にもっと仕掛けを |
| 25 伝統産業集積地という磁力が首都圏民を惹きつける | 26 協働のまちづくり等で住んでよし訪れてよしの地に |
| 27 おもてなしを形や言葉にし心を込める | 28 金沢の恩恵をあざと取りにいくな |
| 29 金沢や加賀とタッグを組めるところ、差別化するところ | 30 金沢でのコンベンション需要のオーバーフロー狙い |
| 31 福井国体から県内延伸まで(2018～2023年)がチャンス | 32 小松～羽田便は安さが新たな魅力に |
| 33 高速交通体系の利用促進策と地域活性化をからめる | 34 二次交通の充実等総合的な交通体系を見直す |
| 35 ハード整備とともに住民の魂を込める | 36 地域を支え地域に愛される並行在来線に |
| 37 開業前倒しにより受入態勢のスピードアップを | 38 フリーゲージトレインが間に合わない場合の準備 |
| 39 福井駅先行開業は投資効果を見極めた上で最適解を | 40 鯖江市ではまちのへそと軸を描きなす必要 |
| 41 越前市では武生駅と南越駅の位置づけが重要 | 42 リニア中央新幹線開通(2027年)と名古屋の再評価 |
| 43 敦賀以西は長期的に進めざるを得ない | |

✓東京～金沢が2時間半～3時間、
片道24便・約22,400席／日。
早く太い動脈で直結



✓首都圏における「北陸」への注目度はか
つてないレベル。福井も健闘

7

北陸からの仕掛け

	イベント等(例示)	アンテナショップ
福井県	埼玉県JR大宮駅周辺にて観光PRイベントを行い、フクイラトルの実物大全身復元骨格を展示。百貨店にて観光と物産展を開催。	主に情報発信を目的として平成14年、「ふくい南青山291」を設置。平成25年4月、銀座に「食の國福井館」を展開。コンパクトなスペースに福井の食の魅力を満載、イートイン機能も具備。
石川県	石川県商工会連合会では、開業直後に、東京の百貨店にて地場産品による物産展「石川味と技のおもてなし展」を開催。	平成26年10月、「いしかわ百万石物語・江戸本店」を銀座に設置。町屋をイメージした特徴的な外観、3フロアに石川が誇る様々な商品を取り揃え、観光案内や移住相談コーナーも設置。
富山県	県主催イベントを平成26年度後半に立て続けに実施。食に関する様々なフェアを中心に、就職や移住に関する相談会等も実施。	平成14年に「いきいき富山館」を開設、18年12月リニューアルで店舗面積が2倍に。28年春、新鮮な魚介類等を使った本格的な和食レストランを備えた新アンテナショップを、日本橋に開館予定。

8

首都圏から北陸の採り上げ

- ✓ テレビドラマのロケーション地、旅行雑誌の対象地、北陸新幹線特集...
- ✓ 鉄道事業者が北陸キャンペーンを展開、旅行代理店は北陸の企画商品を販売。
- ✓ 仮に、北陸の観光地としての実力が何ら変わっていないとしても、首都圏等の消費者が自ずと北陸を流行として捉え、関心を強め、旅行先として選択するという行動が生じてもおかしくはない状況

時期	テレビ局名「番組名」
平成27年1月	BS-TBS「日本の旬に行く！路線バスの旅」
平成26年12月	日本テレビ「ZIP」
平成26年12月	テレビ朝日「科捜研の女SP」
平成26年12月	BS日テレ「イチオシ！2泊3日の旅」
平成26年8月	テレビ大阪「和風総本家」

9

✓観光魅力,ブランド力,交通利便性を手に入れた金沢が北陸ブームの中心に

株式会社ブランド総合研究所「地域ブランド調査2014」

魅力度ランキング(市区町村)

金沢市 9位(9)
 輪島市 74位(74)
 加賀市 92位(131)

魅力度ランキング(都道府県)

石川県 11位(14)
 富山県 23位(21)
 福井県 45位(40)

※ 100位以内に福井県下市町は入らず

10

- ✓福井～金沢は43～50分。
福井にとって北陸新幹線經由東京行き
の便益は僅か
- ✓福井～東京の鐵路が、ほぼ同等の2
ルートから選択可能に
- ✓北陸新幹線を活用して、これまでと違っ
た人の流れが各地で出現

11

- ✓福井～長野が最速2時間強。互いに新し
い交流先が誕生

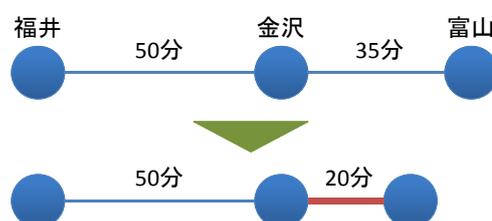
例) ・海の幸と山の幸(食文化、蕎麦、ソースカツ丼...)
 ・教育観光、レジャー・スポーツ
 ・眼鏡産業と精密機械産業 ・福井の新婚が軽井沢で挙式
 ※石川県、富山県との差別化が課題

- ✓福井～大宮が最速3時間強。
北関東、東北方面との最適ルートに

国等の出先機関が集中するさいたま新都心へ好アクセス
 仙台へ最速4時間強

12

✓金沢～富山はシャトル新幹線(つるぎ)
を含め3種類の新幹線で、
18～23分で強固に結節



13

✓西からの在来線特急列車は金沢止まり
となり、
金沢駅のターミナル化が進展

富山～大阪・名古屋・福井は金沢乗り換えに

14



✓金沢に降り立った客は、観光地や
温泉を求めて東西南北へと周遊

✓金沢から能登、富山へと、東に
向かう客の福井への取り込みは困難

15



✓世界遺産「白川郷・五箇山の合掌造り集
落」は首都圏から見て魅力的なコンテン
ツ

✓金沢から西を向いた客は、加賀地方を
経て福井まで足を運ぶ可能性

16

【金沢開業時】金沢起点の観光客をターゲットに、金沢から福井県内観光地へともう一歩足を伸ばして頂く！

- ★越前 VS. 能登、和倉温泉
- ★あわら温泉 VS. 加賀温泉郷

★素通りされないように
★外国人観光客も

【敦賀開業時】新幹線によるダイナミックな周遊ルートを巡る観光客をターゲットに、北陸から京都・大阪・名古屋との間に福井県内観光地を組み込む！

17

日経トレンドの「2015年ヒット予測ランキング」※では、「北陸トライアングル」が第3位。

しかし、この「北陸トライアングル」とは、「金沢・富山・能登」を結ぶ三角形のことであり、福井は含まれず。

※日経BP社「日経トレンド」2014年12月号」（平成26年11月発行）

この件は、現時点における北陸新幹線に関する本県の微妙な立ち位置を、象徴的に表したものであるととらえることができる。

18

「北陸ディステーション・キャンペーン」(北陸DC)

- ✓ DCは、JR6社を中心に官民協働で行われる国内最大規模の観光キャンペーン。
- ✓ 北陸DCは2015年10～12月、福井・石川・富山の3県を対象に、「Japanese Beauty Hokuriku ～日本の美は、北陸にあり。～」をメインテーマとして実施。
- ✓ 3県が一層連携し、北陸への注目度を息の長いものに。北陸新幹線ブームという隣県に吹いた強い追い風を、本県にまでしっかりと届かせることが必要。



19

✓首都圏からは

「金沢の先に福井があり、福井の手前に
金沢がある」
という感覚に

東京から福井へは、米原経由も金沢経由も時間的に変わらないが、
金沢という魅力あるまちとセットになることで、チャンスが広がる。

20

✓新潟県西部、長野県は、 虎視眈々と関西をターゲットに

上越～大阪：4時間半→3時間半。佐渡汽船は、佐渡南部の小木と直江津を結ぶ航路に新しい高速フェリー船「あかね」を就航

長野県も大阪で観光物産展を開くなど
関西をターゲットとして明確に意識した
活動を行っている。



21

✓福井の観光地の最大顧客は 引き続き関西、次いで中部であることを 忘れてはいけない

県外からの発地別入込状況(平成25年)

・関西地区	42.0%
・中京地区	27.1%
・関東地区	6.6%
・北陸地区	17.3%
・その他	7.0%

22

✓金沢開業1年後に北海道新幹線新函館
北斗駅開業。北陸ブームを1年で終わら
せてはいけない

東京～新函館北斗：最速4時間10分を見込む

株式会社ブランド総合研究所「地域ブランド調査2014」
魅力度ランキング(市区町村)
函館市 1位(2)

23

✓首都圏という新規客にとって
福井の全てが低認知・未体験。
逆に高興味のチャンス

✓東尋坊、永平寺は圧倒的知名度。
福井初上陸の地としての地位は
揺るがず

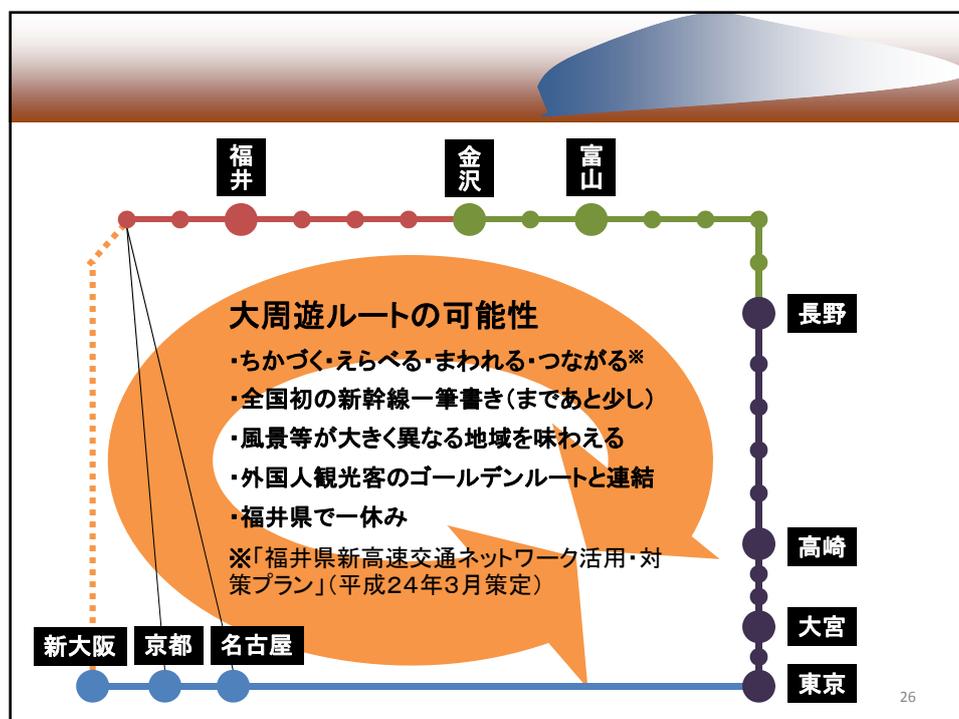
24

✓北陸新幹線と東海道新幹線を活用した大周遊ルート(Japan Ring)にも注目。

✓福井は、京都と金沢の間のミッシングリンクに位置するということも強みに

✓北陸新幹線によって外国人観光客の流れが変わる可能性。福井もこれを見据える必要

25



26

✓福井における

観光消費額を増やすためにも、
あわら温泉にもっと仕掛けが必要

湯けむり横丁
芦湯
メインストリート

この方向で五感をフルに楽しめる
ようなまちに！

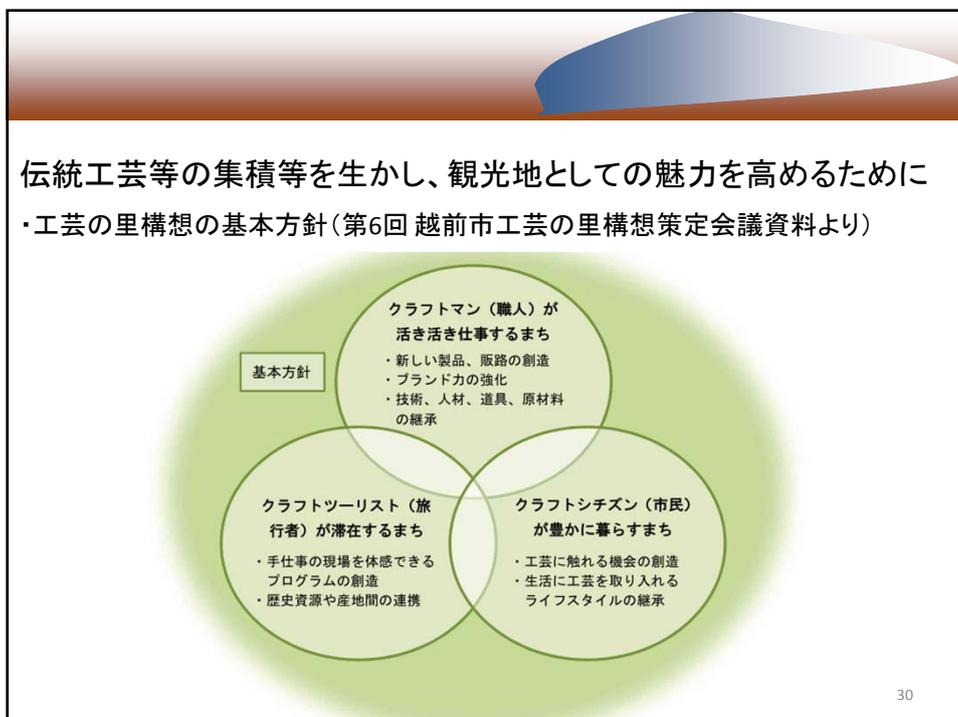
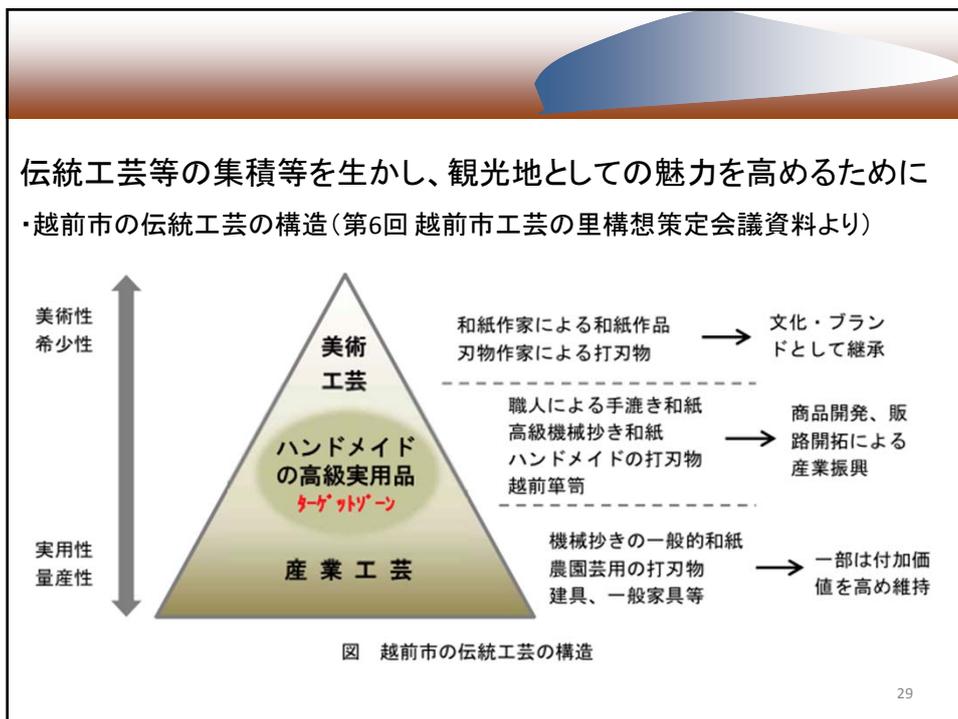


27

✓伝統産業集積地という

観光面でこれまで低利用の磁力が、
首都圏民を惹きつける可能性

28



✓地域の宝を丁寧に探し

協働のまちづくりを進めること等で、住んでよし訪れてよしの地に

31

協働のまちづくり

住んでいる人が主体的に地域に関わり、観光事業者や行政、そして観光客とともに、

「地域の光を見つけ」

「地域への誇りと愛着を醸成し」

「住んでよし、訪れてよし」

という地域をつくりあげる。

行政や専門家との適切な役割分担のもと、事業の各段階にて住民との協働によるまちづくりを推進する。

- ・構想、計画段階における協働のまちづくり
- ・運営、維持管理における協働のまちづくり

32

協働のまちづくり

【参考事例 熊本県「ようこそくまもと大作戦」】

- ・おもてなし運動の企画を公募、審査を経て活動を支援(助成、PR)
- ・2009年度41件選定(応募100件)、2010年度81件選定(応募144件)
- ・1事業当たり30万円を上限。「おもてなし隊員証」を交付
- ・玄関口への植栽、まちあるき看板の設置、おもてなし講座の実施、観光ボランティアガイドの相互交流等

【参考事例 石川県「STEP21重点プロジェクト・リーディング事業」】

- ・先導的な民間プロジェクトを認定し支援(補助率2/3、20~300万円/年)
- ・2010年度3件選定(応募40件)、2011年度5件選定(応募40件)
- ・多言語による石川県ガイドウェブサイト作成プロジェクト(外国人旅行者おもてなし推進会)、音楽による石川探訪プロジェクト(いしかわ音楽の探訪実行委員会)、若者が楽しく学び、歩ける城下町大聖寺(NPO法人歴町センター大聖寺)等

33

✓おもてなしを形にすること、 言葉にすること、 心を込めることの重要性

おもてなしに付加価値を乗せる3要素

- ・**想像力**(何に興味があるのか。何に困っているのか)
- ・**創造力**(工夫する。あなたに特別に伝える。)
- ・**相奏力**(双方向のコミュニケーション。ガイドも客も旅の構成要素。)

34

おもてなしガイドのレベル

おもてなしガイド	1.0	2.0	3.0
考え方	プロダクトアウト (ガイドが伝えたいこと)	プロダクトアウト +マーケットイン (+観光客が知りたいこと)	プロダクトアウト +マーケットイン +カスタマーイン (+観光客一人一人が知りたいこと)
目的	ガイドサービスの提供	ガイドサービスによって、観光客を満足させること	ガイドサービスを通じて、地域をよりよい場所にする
ガイドと観光客の関係	教育・学習 (ガイド→観光客)	対話、交換、交流 (ガイド↔観光客)	共有、共感、共創 (ガイド≡観光客)
ガイドサービスの中身	知識、情報	知恵	価値

35

おもてなしの効能

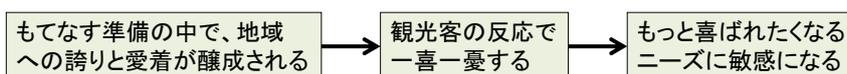
✓観光客の満足度がアップする



✓リピーター（福井ファン）になる



✓もてなす側のモチベーションがアップする



もてなされる側だけでなく、もてなす側にも好循環がもたらされる

36

- ✓金沢に嫉妬、羨望したり無関心を
決め込むのではなく、
あざとくその恩恵を取りにいくべき
- ✓金沢や加賀とタッグを組めるところ、差
別化するところ、おこぼれを狙うところの
見極めも大事
- ✓金沢でのコンベンションの宿泊需要の
オーバーフローも狙い目

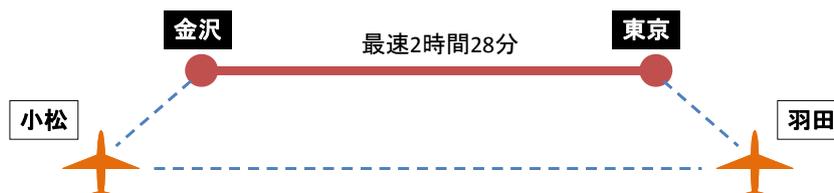
37

- ✓福井国体(2018年度)から県内延伸まで
は福井を全国に売り出すまたとないチャ
ンス

東京オリンピック(2020年)の熱気に埋もれないように、
首都圏からのリピーターになってくれた方はもちろんのこと、
二度目、三度目の北陸旅行で「今度は福井へ」と思って
いただけるようにしっかりと準備を整える

38

✓小松～羽田は”便数維持,機材小型化, 低価格化”で対抗。安さが新たな魅力に



航空会社の対抗策

- ・便数維持 (ANA: 6便、JAL: 6便)
- ・機材小型化 (ANA: 66%、JAL: 75% 7,100→5,000席)
- ・低価格化 (最安値で77%)

39

- ✓ 価格面からみると、約1ヶ月前の予約で鉄路に対する明確な逆転現象が生じるがその差はわずか。流出は不可避。
- ✓ 一方で、石川県加賀南部～福井県嶺北北部においては、確保された便数でこれまでよりも格安に乗れる空路は魅力的。また、石川県の平成27年度当初予算では、様々な小松空港利用促進策が重点的に掲出。新幹線効果の最大化とその各地への波及のためには、航空ネットワークも欠かせないものとして位置づけられている。
- ✓ しかしながら、東京と新幹線で2時間半で結ばれた地域において、定期便の就航しているところが大阪以外にないという事実は重く、搭乗率の低い状態が続けば、航空会社としても機材小型化の次に便数削減から廃止へと進むことは自明。さらには、敦賀延伸の前倒し方針が打ち出されたいま、石川県加賀南部～福井県嶺北北部における小松空港の利用拡大に対する期待期間もまた短縮される。
- ✓ 小松～羽田便の帰趨は市場原理に任せるべきなのか、それとも欠かせないインフラとして地域が支えるべきなのかを見極める必要。外国人観光客の急増、能登空港との関係性、格安航空会社の動向等を見据えつつ、地域におけるその経済的効果および社会的効果を測りながら、敦賀延伸までの時を歩まねばならない。

40

✓高速交通体系の利用促進策と地域活性化をからめた政策誘導という視点も重要

✓福井延伸を見据えつつ、二次交通の充実等、総合的な交通体系を各地で見直すべき

41

駅や交通を地域に取り込む

観光地



アクセス駅に必要な3C

- ・コンシェルジュ: 観光案内、宿泊案内
- ・コンビニエンス: 各種サービス
- ・コラボレーション: 観光地の気分を感じ取れる

アクセスに必要な3F

- ・ファンクショナル: 乗り継ぎが便利
- ・ファン: 乗って楽しい
- ・フリー: 安い

福井延伸までは金沢駅直結のアクセスも重要



- ✓ 首都圏の観光客は、思いもよらない距離を平気で歩くとともに、公共交通の利便性に慣れきっている。

42

✓ハード整備の重要性は変わらないが、そこに住民の魂を込めることにもっと注力すべき

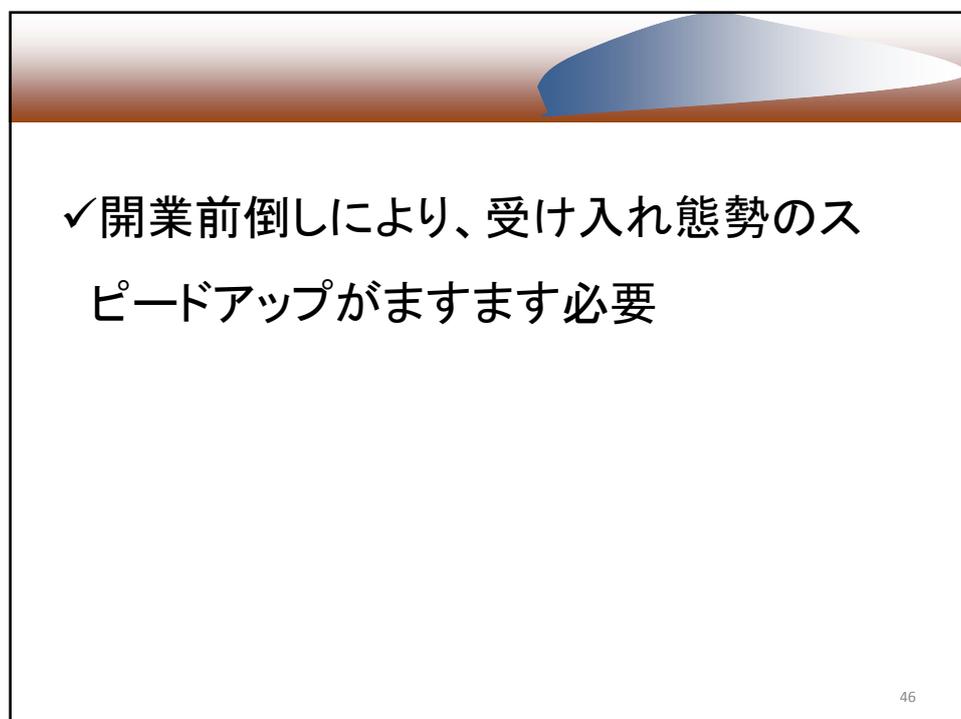
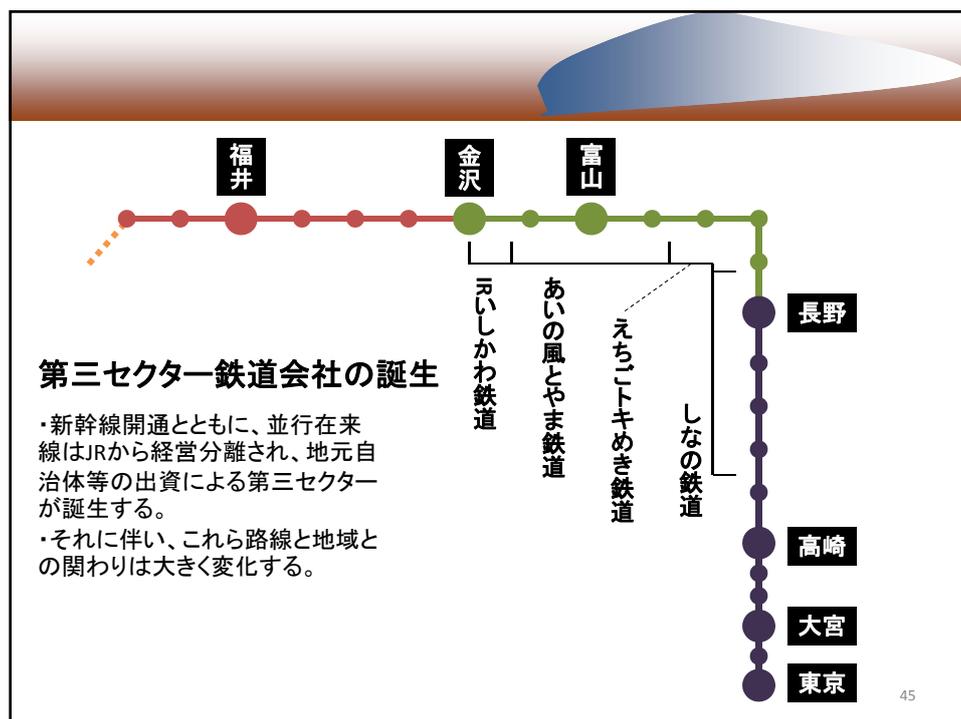
43

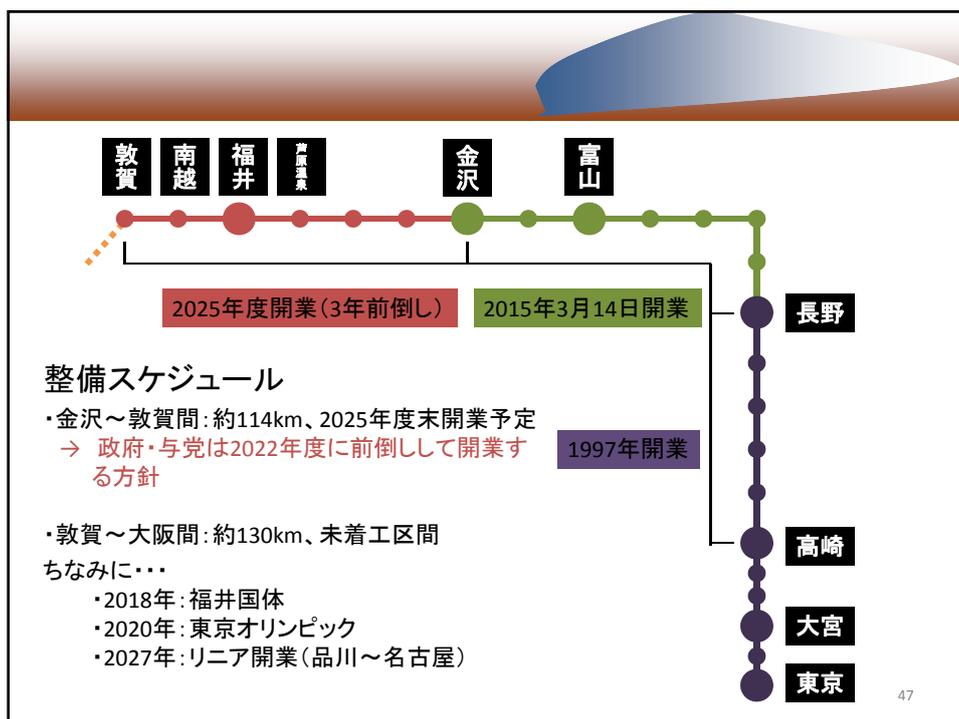
✓地域を支え地域に愛される並行在来線という共通認識が、県民のなかで広がっていくことが不可欠

【並行在来線と地域の変化(例)】

- ・地域ニーズに合わせた柔軟な運行
 - ・ダイヤ最適化
 - ・快速等の運行
 - ・新駅設置
- ・地域の支援による経営最適化
 - ・公的支援等の抜本的改善策
 - ・料金値上げ
 - ・経費や人員の削減
 - ・市町の駅施設への関与
- ・観光客等への対応
 - ・他交通機関と連携した総合交通体系の再構築
 - ・地域活性化と結びつけた観光列車等の運行
- ・他社との連携
 - ・JR(新幹線等)との連携
 - ・他県第三セクターとの連携
 - ・えちぜん鉄道、福井鉄道との連携

44





✓敦賀開業にフリーゲージトレインが間に合わない場合に向けた準備も必要

フリーゲージトレイン: 軌間可変電車

- ・線路幅が異なる新幹線と在来線を直通運転できる。
- ・専用の台車と、車輪の幅を変換するための線路設備が必要
- ・JR西日本では、「2017年度に試作車を完成させ、敦賀開業(2025年度)に合わせて導入」というスケジュールで研究を開始した。
- ・降雪への対応等、技術的課題の解決が必須である。

・金沢開業時にはこの技術が未完成であるため、サンダーバード・しらさぎは金沢止まり(+和倉温泉行き)となる。

✓福井駅先行開業については、 その投資効果を見極めた上で最適解を

敦賀開業からさらに2年前倒して、2020年度に福井まで先行開業することも検討しているが、その場合、留置線や列車運行システムの修正等による経費が追加で発生することを踏まえる必要がある。

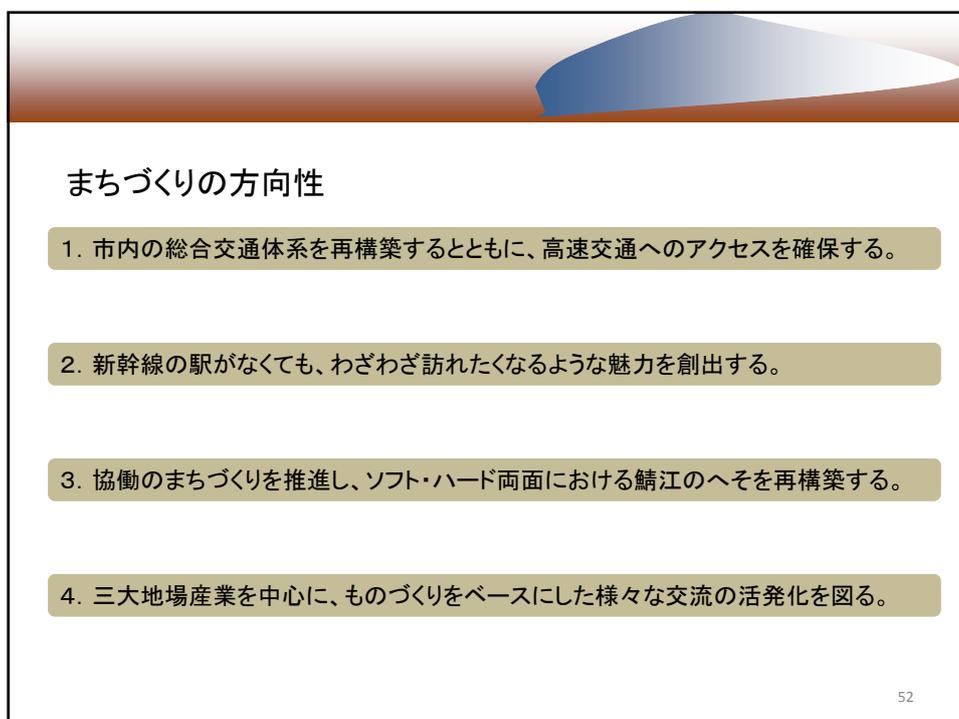
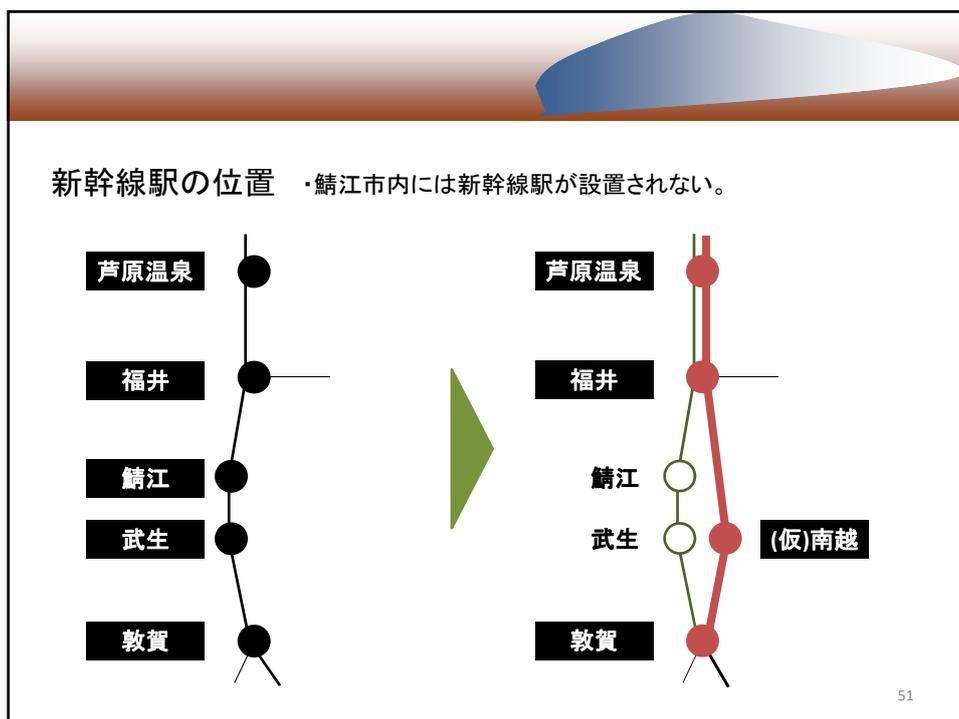
49

✓特急停車駅のなくなる鯖江市では、まち のへそと軸を描きなおす必要

現状と基本認識

- ・新幹線の駅は市内にできず、特急停車駅の鯖江駅が三セクの駅となるなど、県内で最もマイナスの影響が大きいと思われる地域である。
 - ・市民提案型や市外の学生提案型のまちづくりを推進するなど、協働のまちづくりという面においては県内でも先進地である。
 - ・行政による新幹線対策としては、「北陸新幹線開業を見据えたまちづくり懇話会」においてその方策を検討している。
- (鯖江駅周辺等の中心部のまちづくり)

50



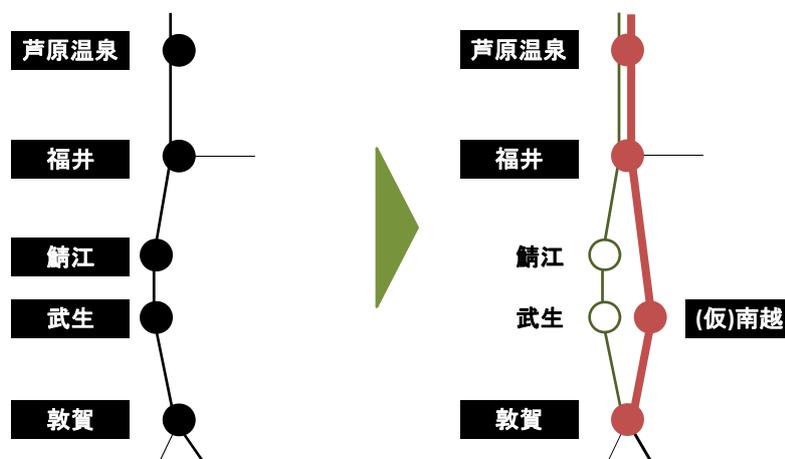
✓越前市では、武生駅と新幹線新駅となる (仮)南越駅のまちづくり上の位置づけが 重要

現状と基本認識

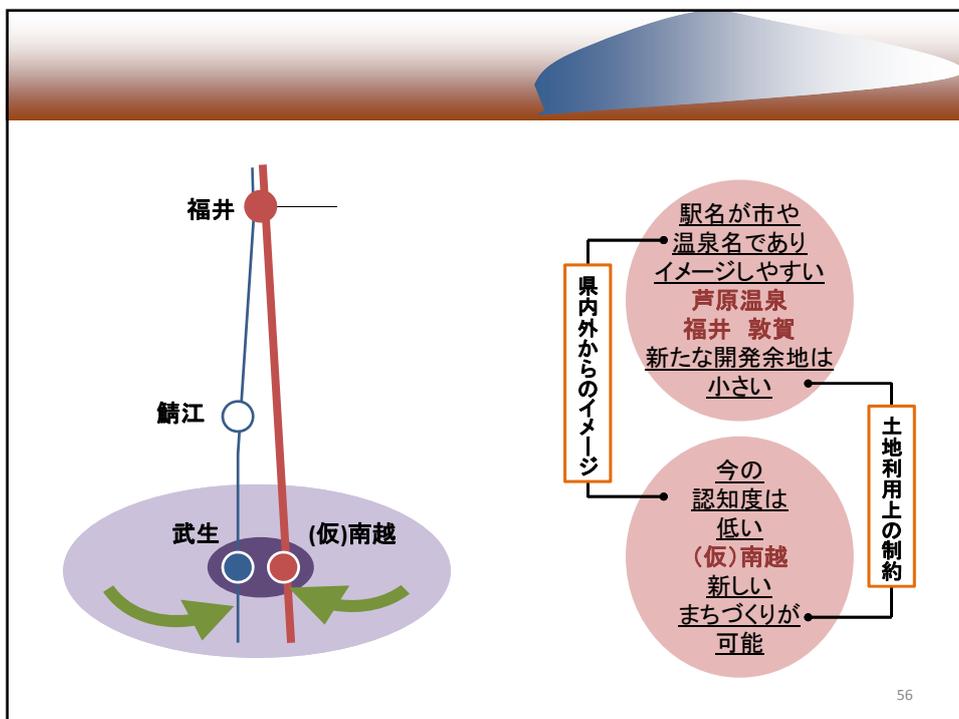
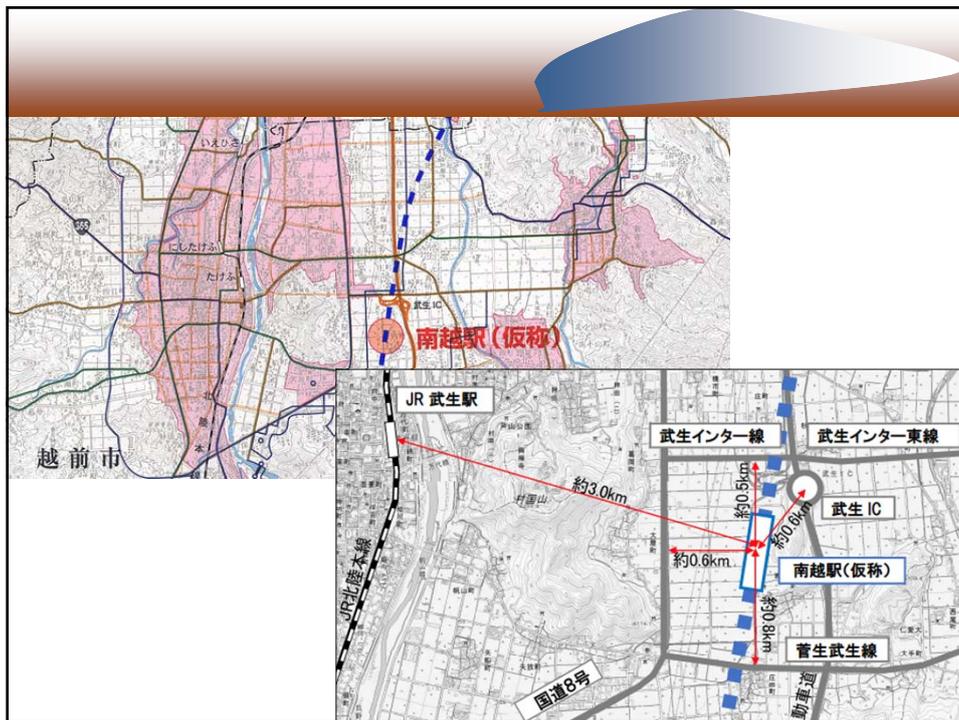
- ・新幹線の駅は現特急停車駅の武生駅ではなく、武生IC側に(仮)南越駅が新設される。交通のハブが武生駅と(仮)南越駅に分かれるため、まちづくりの上で両駅をどのように位置づけるかが非常に重要となる。
- ・市役所の建て替えが喫緊の課題であり、その時期や機能のあり方によって、まちづくりの方向性は大きく変わる。
- ・行政による新幹線対策としては、「北陸新幹線南越駅周辺整備基本計画の策定に関する越前市事業計画等策定委員会」において検討している。

53

新幹線駅の位置 ・越前市内には、現武生駅ではなく(仮)南越駅が新設される。



54



まちづくりの方向性

1. 丹南地域の玄関口として(仮)南越駅周辺を位置づけ、適切な周辺整備を図る。
2. 武生駅周辺を引き続き越前市の中心と位置づけてまちづくりを進める。
3. (仮)南越駅への市内からのアクセスを確保する。
4. 伝統工芸等の集積等を生かし、観光地としての魅力を高める。

57

✓リニア中央新幹線品川～名古屋間開通 (2027年)を見据え、名古屋との結びつき を再評価する必要

2027年：開業予定。名古屋～品川を最速40分で結ぶ

岐阜県駅：中津川市千旦林付近

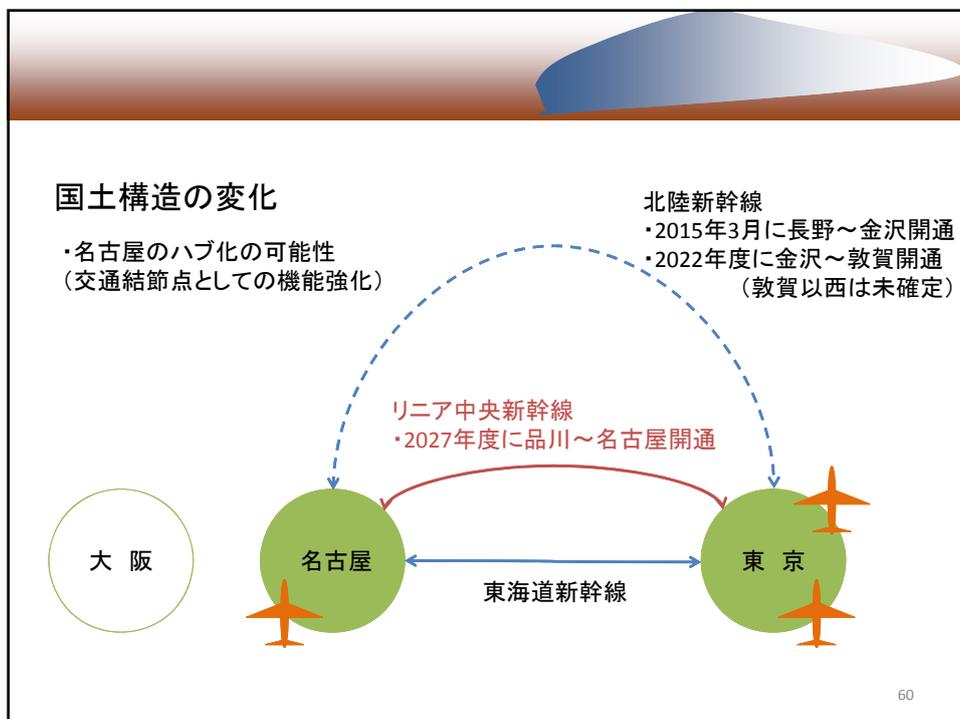
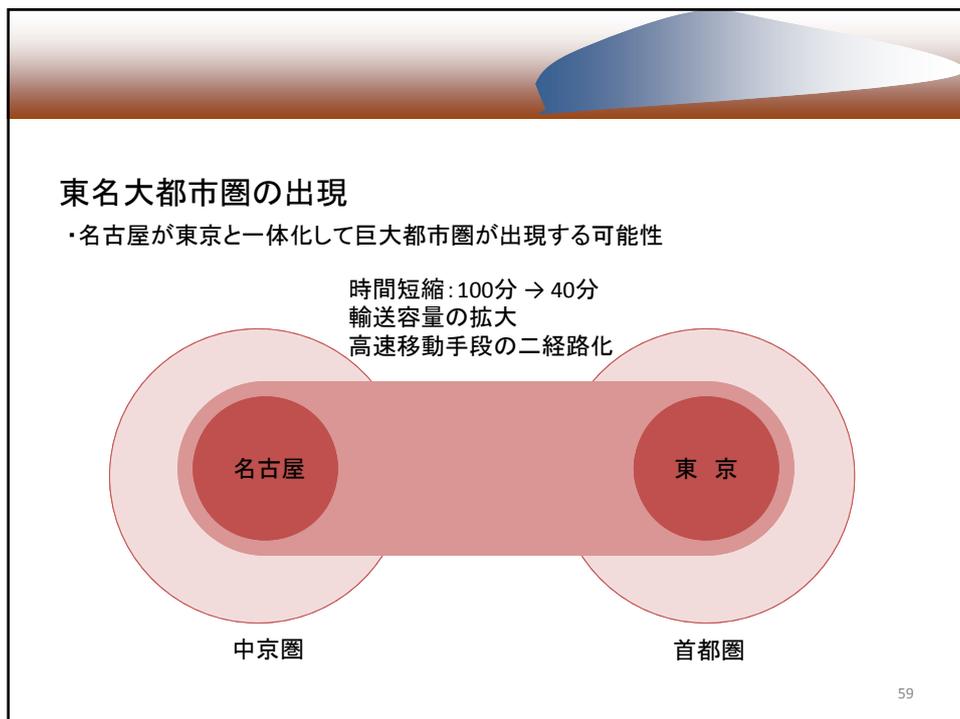
長野県：飯田市上郷飯沼付近

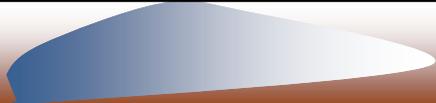
山梨県：甲府市大津町付近

神奈川県：相模原市橋本駅付近に新駅



58





世界初という希少性

- ・超電導リニアによる超高速鉄道は世界初
- ・浮上式によるスムーズな乗り心地
- ・超高速体験
- ・先進的なデザイン

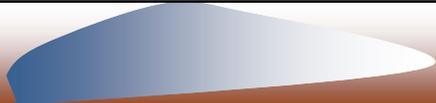
超電導技術の波及

- ・実験、建設、運用を通じた世界最先端技術の他への展開
- ・超電導リニアによる高速鉄道技術の輸出
- ・他分野、他用途等での超電導技術の活用（素材、加工、制御、安全...等）

実現に向けた課題

- ・民間会社による国家プロジェクトに対する巨額な投資（約5.5兆円）
 - ・長大トンネル、大深度地下によるさらなる建設費用の増大の可能性
 - ・人口減少や低成長による需要減への懸念
- ・電力消費
 - ・乗客1人1kmあたり電力消費量は、既存新幹線の約3倍
- ・環境問題
 - ・地下水脈への影響、残土処理

61

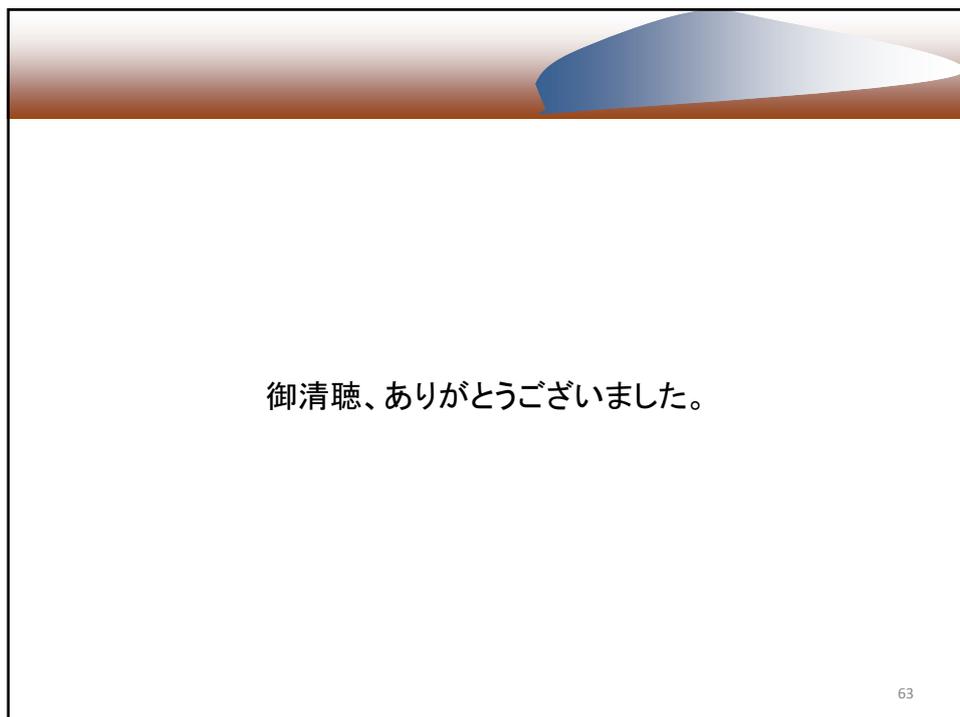


✓東海道に直結してこそその北陸新幹線であるが、

敦賀以西は長期的に進めざるを得ない

現時点において着工されている整備新幹線の区間のうち、最も工期の長い北海道新幹線新函館北斗駅～札幌駅の開業は2031年春。敦賀以西の開業は、ここから相当期間を要すると考えるのが妥当。

62



御清聴、ありがとうございました。

63